奈良県認定こども園  $\mathcal{O}$ 認定の 要件に関する条例  $\mathcal{O}$ 部を改正する条例をここに公布す

る。

平成二十八年六月二十八日

奈良県知事 荒 井 正 吾

## 奈良県条例第三号

一号 奈良県認定こども園の認定の要件に関する条例  $\mathcal{O}$ 奈良県認定こども園 一部を次のように改正する。  $\mathcal{O}$ 認定の要件に関する条例 (平成十  $\mathcal{O}$ \_\_ 部 八年十二月奈良県条例第二十 を改正する条例

出し及び五項を加える。 附則を附則第一項とし、 同項に見出 しとして  $\neg$ (施行) 期 日 \_\_ を付 附 則 12 次  $\mathcal{O}$ 見

(認定こども園の職員資格に関する特例)

- 2 合には、  $\mathcal{O}$ ることができる。 項の 教員 項本文の規定により認定こども園に置かなけ 園児の登園又は降園の 免許状又は保育士 規定により認定こども園に置くも 当分の間、 第八条第一項、 証を有する者と 時間帯その 第二項及び第四項 他の園児が 同等 のとされる職員  $\dot{O}$ 知識及 ればならない 少数である時間帯に CK の規定に 経験を有すると認め のうち一人は、 職員 か かわらず、 の数が一人とな おい て、 知事が幼 第七 る者とす 第七条第 稚園 る場 条第
- 3 者に 諭として従事し 第六項に 通免許状 ることができる。 八条第一項及び 0 V ては、 お (教育職員免許法第四条第二項に規定する普通免許状をい いて同じ。 当分の てい る者を除く。 第四項本文の  $\smile$ 間、 を有する者 幼稚園 規定に 次項及び附則第六項におい の教員免許状又は (現に当該施設におい より 置 か な け 小学校教諭若し れ ば て主幹養護教 な て同じ。 5 な 11 う。 保育 は養護教諭 をもって代え 諭及び養護 次  $\pm$ 、項及び 証 を有  $\mathcal{O}$ す る
- 4 をもっ 場合を除き、 ならない。 有する者につい 第八条第二項の規定により置かな て代えることができる。 幼 稚園教育要領に従っ ては、 当分の間、 この て編成された教育課程に基 場合におい け 小学校教諭又は養護教諭 ればならない て、 幼稚 当該者は、 園 一の教員 の普通免許状を有する者 づく教育に従事し 補助者として従事する 免許状又は保育 ては 士 証
- 5 となる職 員 · つ き八  $\mathcal{O}$ 総数が 時 間 で超えて開所する認定こども 利用定員に応じ て置 いなけ 園 れ ば に なら な 11 な て、 V 職員 開 所 詩  $\mathcal{O}$ 数を超える場合 間 を通じ 7 要

者は、 て得 程に基づく教育に従事してはならない。 及び経験を有すると認める者をもっ となる職員の  $\mathcal{O}$ における第八条第一項、 教員免許 た数の 補助者として従事する場合を除き、 範囲で、 状又は保育士 総数か , S 知事が幼稚園 証を有する者に 第二項及び第四項の規定により置かなけ 利用定員に応じ 0 て代えることができる。 教員免許状又は保育士証を有する者と同等 て置 9 V 幼稚園教育要領に従って編成された教育課 いなけ ては、 当分 れば なら  $\mathcal{O}$ 間、 この場合にお な 開 1 職員 所 ればならない 詩 間 の数を差し を通じ į١ て、 幼稚園  $\dot{O}$ 7 当該 引 知識 11

6 1, の規定により認定こども園に置くものとされる職員の数の三分の一を超えてはならな る者をもっ 次の 表の上欄に掲げる規定により同表の中欄に掲げる者に て代える場合においては、 同表の下欄に掲げる者の総数は、 2 V 7 同 表 第七条第一項 の 下 欄に 掲げ

附 則 第 五 項	附則第四項	附 則 第 三 項
第八条第一項、第二項及び第四項の 第八条第一項、第二項及び第四項の	は保育士証を有する者ればならない幼稚園の教員免許状又第八条第二項の規定により置かなけ	証を有する者により置かなければならない保育士第八条第一項及び第四項本文の規定
知事が幼稚園の教員免許状知事が幼稚園の教員免許状	普通免許状を有する者小学校教諭又は養護教諭の	の普通免許状を有する者学校教諭若しくは養護教諭物権園の教員免許状又は小

## 附則

この条例は、公布の日から施行する。